練馬区プレスリリース　　送付日　2026 年（令和８年）11 月 27 日

障害のある人もない人も、ともにつながる一日に
～「2026 障害者フェスティバル」を開催します～

と　　き	12 月５日（土）午前 10 時～午後３時
と こ ろ	光が丘区民センター（光が丘２－９－６）、都立光が丘公園ふれあいの径

12月５日、光が丘区民センターおよび都立光が丘公園ふれあいの径（みち）で「2026障害者フェスティバル」を開催する。

同フェスティバルは、障害のある方や障害者施設等の支援者で構成する障害者フェスティバル実行委員会（33団体、実行委員長：石井暁子）が中心となってつくり上げてきたイベント。今年のテーマは「つながる出会い！広がる笑顔！」。障害者施設で製作した自主生産品などを販売する「模擬店」をはじめ、障害のある方が制作した絵画やオブジェ、日頃の活動を紹介する「作品展示」、歌やダンスなど日頃の練習の成果を披露する「コンサート」など、様々な企画でともに楽しみながら交流できる催しを行う。実行委員長の石井氏は、「イベントを通じて、障害への理解が進めば嬉しい」と話す。全盲の石井氏は、実行委員長として、イベントづくりをまとめてきた。



▲「2026 障害者フェスティバル」ポスター

フェスティバルは、障害者週間（12月３日～９日）に合わせて毎年開催。昨年度は約2,000人が来場した。練馬区が共催し、練馬区社会福祉協議会が後援する。

【主な内容】

- ふれあいコンサート（10 団体）
  午前と午後に、手話ソング（あかねの会）、ゆめぞう合唱隊による歌とダンス（やすらぎ夢工房）、バンド演奏（ホサナバンド）、阿波踊り（だいこん連）などを発表する。
- 模擬店（24 店舗）
  障害者施設や障害者団体などが、自主生産品（クッキー、さき織り、藍染製品など）や、温かい食べ物（甘酒、玉こんにゃく、野菜入りつくねスープなど）を販売する。
- 作品展示（13 団体）
  施設利用者が共同制作したクリスマスツリー（大泉福祉作業所）を展示し、来場者も飾り付けに参加できる。このほか、施設利用者・利用児が制作した絵やオブジェなどの展示や、点字名刺の作成実演（練馬区視覚障害者福祉協会）、社労士による障害年金相談（一般社団法人セルフサポートマネージメント）も行う。
- 「ねり丸」記念撮影コーナー
  区公式アニメキャラクター「ねり丸」と記念撮影ができる。
  ①10:30～10:45　②11:45～12:00　③13:00～13:15

※ 出店団体や出演時間など、詳しくは区ホームページをご覧ください。
https://www.city.nerima.tokyo.jp/hokenfukushi/shogai/koryu/syogai_festival.html

【過去の様子】

- 模擬店





- コンサート、作品展示





- ねり丸記念撮影コーナー



【問合せ】

練馬区 障害者施策推進課　管理係　　電話 ０３－５９８４－４５９８